

公共施設に関する討議会

～ 「自分ごと」として考える “公共施設のこれから” について ～

《結果報告書》

1. 討議会の目的

市が保有する公共施設の総延床面積は約 42 万㎡にも上り、多くの施設は老朽化が進んでいます。これらの施設を今後も同じ規模で維持・更新していくことは不可能です。

将来想定される人口減少、少子化・高齢化や厳しい財政状況を見据え、現在保有する公共施設をどのようにしていくべきかをしっかりと考えていく必要があります。

そのために、本討議会は次の 2 点を目的に開催しました。

- ①市民の皆さん同士で公共施設の将来の方向性についてグループ討議をしていただく。
- ②グループとしての意見や提案を出していただき、計画策定の参考にする。

参加していただいた市民の皆さんには、公共施設をよく利用する方もそうでない方にも、他人事ではなく「自分ごと」として捉えて討議していただき、公共施設のこれからのについての貴重なご意見やご提案を出していただきました。

2. 開催日時

平成 30 年 11 月 10 日（土） 午前 9 時 30 分から午後 4 時 15 分まで

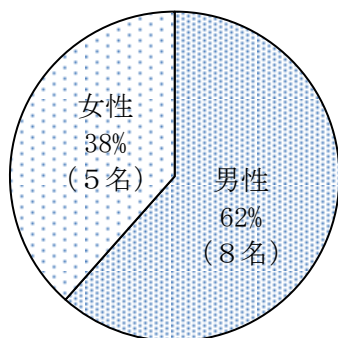
3. 開催場所

多治見市役所 駅北庁舎 4 階大ホール

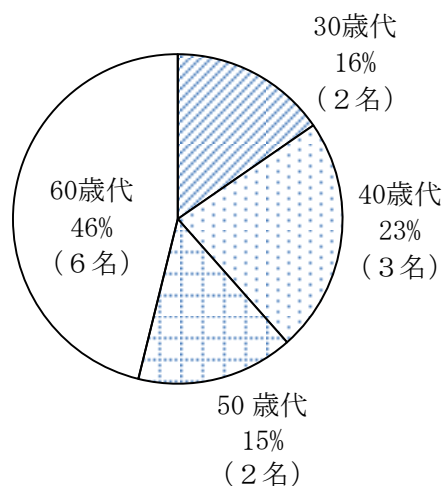
4. 参加者属性

住民基本台帳から無作為抽出した市民 1,600 名に討議会参加依頼書を発送し、13 名の方にご参加いただきました。

①性別



②年代



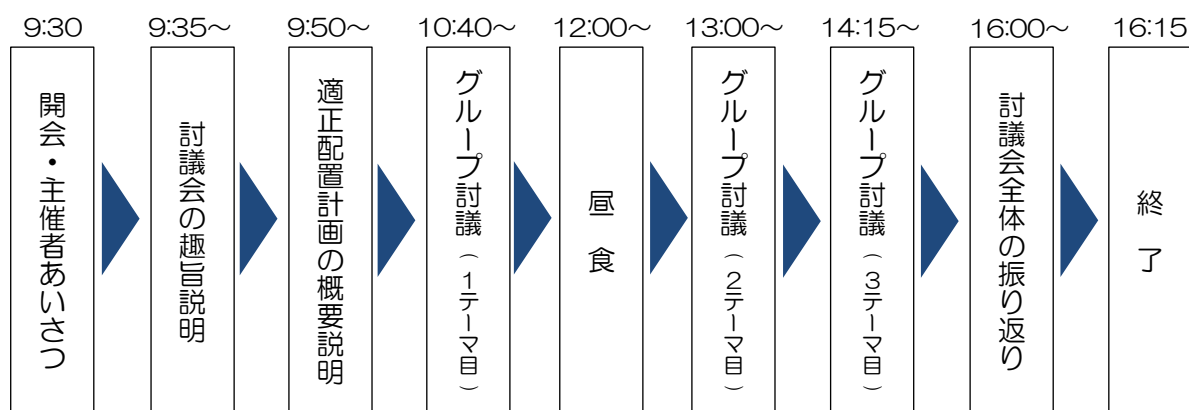
5. 傍聴者

11 名

6. 討議会の概要

討議内容	公共施設適正配置計画（素案）をベースに、「施設分類別の方向性」と「個別施設の方向性」について、各グループで討議し、グループとしての意見や提案を出していただきました。
討議の進め方	・グループ単位（1 グループ当たり 4～5 名）でテーマに沿って討議 ・各グループにファシリテーター（討議の整理役）を配置 ・各テーマの討議終了後にグループ単位で発表

《全体の流れ》



《グループ討議》

テーマ	討議対象施設	グループ討議の流れ
1テーマ目	◆行政系施設（庁舎、地区事務所、消防署など） ◆市営住宅 ◆市民病院 ◆その他施設（陶磁器意匠研究所、火葬場）	①事務局（市）から「施設分類別の方向性」や「個別施設の方向性」の要旨を説明 ↓ ②質疑応答 ↓ ③グループ討議 ↓ ④グループの意見・提案の発表
2テーマ目	◆学校教育系施設（小・中学校、給食調理場など） ◆保育園 ◆幼稚園	
3テーマ目	◆市民文化系施設（公民館、図書館、文化会館など） ◆福祉施設（老人福祉センター、発達支援センター、かさはら福祉センターなど） ◆児童館・児童センター ◆産業系施設 ◆スポーツ施設	

《グループ編成》

グループ名	人数	年齢構成
A	4 人(男2・女2)	30 歳代(女)1人、40 歳代(男)1人、60 歳代(男)1人、60 歳代(女)1人
B	4 人(男3・女1)	30 歳代(男)1人、60 歳代(男)2人、60 歳代(女)1人
C	5 人(男3・女2)	40 歳代(男)2 人、50 歳代(男)1人、50 歳代(女)1人、60 歳代(女)1人

7. 討議の際に使用した資料

- ① 多治見市公共施設適正配置計画（素案） 《本編》
- ② 多治見市公共施設適正配置計画（素案） 《資料編》
- ③ 平成 29 年度 公共施設に関する市民アンケート調査報告書

※上記資料は事前に参加者へ送付し、お読みいただいた上で討議会に参加していただきました。
 ※上記資料は市のホームページで公開しています。

8. グループ討議の結果（発表内容）

（１）１テーマ目

対象施設	◆行政系施設（庁舎、地区事務所、消防本部・消防署、消防分団車庫） ◆市営住宅 ◆市民病院 ◆その他施設（駐車場、陶磁器意匠研究所、火葬場）
------	--

項目	意見・提案
庁舎	Aグループ ◆本庁舎周辺は従来から行政サービス提供の拠点であったため、建物ごとなくなってしまうとこの地域の行政サービスの低下を招く恐れがある。 よって、本庁舎移転後の建物をどのように活用するかが重要。 ◆現在の本庁舎の建物は、別の機能の集約先として活用するとよい。 Bグループ ◆本庁舎と駅北庁舎はひとつにまとめた方がよい。 Cグループ ◆次の理由から、本庁舎は駅北庁舎の周辺に建て替える必要性があると考ええる。 ①本庁舎と駅北庁舎に分かれており、窓口が分散していることが市民にとって分かりづらい。 ②2つの建物を維持するのはムダが大きく、コストもかかる。 ③本庁舎の機能は、駅北庁舎の方へ集約すべき。 ④災害時のバックアップ体制を考慮すると、1つの建物に集約するのではなく、建物が2つあってもよいのではないかと。
地区事務所	Aグループ ◆利用状況に差はあるが、地域住民の役に立っている施設であるため維持した方がよい。 ◆地区事務所でできる業務を増やす一方で、庁舎の業務をスリム化して、地区事務所の有効活用と活性化を図るとよい。 こうすることで庁舎面積のスリム化を図り、最終的には本庁舎の建替え規模の縮小につながるのではないかと。 ◆地区事務所の業務量が増加することにより増築の必要性が生じる場合は、インターネット申請や庁舎とのネット接続による省力化の仕組みの構築などで対応できるのではないかと。

地区事務所	Bグループ ◆できるだけ集約していく方がよい。 ◆ただし、移動手段の確保（例：公共交通の充実など）が必要。 Cグループ ◆次の理由から全て廃止するとよい。 ①地区事務所が近くない地域はないなりに生活ができているため、全て廃止してもよいのではないか。 ②ただし、全て廃止するに当たっては、庁舎への移動手段の確保（例：公共交通の充実など）やネット申請への対応などの代替措置が必要。 ③こうすることで施設総量のスリム化につながるのではないか。
消防施設	Bグループ ◆素案のとおりでよい。
消防分団車庫	Bグループ ◆素案のとおりでよい。
市営住宅	Bグループ ◆用途廃止後の土地は、民間事業者売却し住宅用地として整備してもらい、更に市が補助金を出す等の政策を用意して、若者の移住・定住施策に活用してはどうか。
病院施設	Bグループ ◆素案のとおりでよい。
駐車場	Bグループ ◆ヤマカまなびパークは駐車場が不足しているため、豊岡駐車場は必要である。 ◆素案では将来的に解体する計画となっているが、その時の需要によっては建て替えることも必要ではないか。
その他施設 (意匠研・火葬場)	Bグループ ◆素案のとおりでよい。
テーマ全体 ・ その他	Aグループ ◆全体的に素案に対する否定的な意見はなかった。概ね素案のとおりでよい。 ◆圧縮目標（素案P. 11）は現状の支出実績が40年間続く前提で計算されているが、人口減少や社会保障費の増加などが加味されていないのではないか。

※限られた時間内での討議及び発表であるため、グループによって言及する項目が異なります。（2テーマ目、3テーマ目も同様）

(2) 2テーマ目

対象施設	◆学校教育系施設 (小学校、中学校、調理場等、その他教育施設〈さわらび学級〉) ◆子育て支援施設(保育園、幼稚園)
------	---

項目	意見・提案
小学校・中学校	Aグループ ◆小学校は通いやすい立地がよいため、統合は行わず維持するのがよい。 ◆中学校は当面は現状維持でよいが、少人数化による部活動への影響などを考えると、中学校同士の統合を進めてもよいのではないかな。 ◆小学校へ保育園や幼稚園を移転(複合化)する場合は、子どもの安全面を慎重に考えた上で進めてほしい。体の大きさや遊び方の違いもあり、グラウンドの共用も難しい面があるのではないかな。 Bグループ ◆中学校を近隣の小学校へ移転・統合するのがよい。 ただし、校区設定の仕方を十分に検討する必要がある。 Cグループ ◆次の理由から中学校を近隣の小学校へ移転・統合するのがよい。 ①小学校区が地域の活動単位であることを考慮すると、小学校へ中学校機能を吸収するのがよいと考える。 ②こうすることで、大きな面積を有する中学校の建物を減らすことができ、施設総量のスリム化に寄与できる。 ◆笠原小・中で実施している小中一貫教育はメリットが大きいと聞くので、これをモデルにして他校区にも展開するとよい。
調理場等	Bグループ ◆素案のとおりでよい。 ◆調理業務などは民間活用を進めるべき。 Cグループ ◆素案のとおりでよい。
その他教育施設 (さわらび学級)	Cグループ ◆素案のとおりでよい。
保育園・幼稚園	Aグループ ◆保育園、幼稚園、小学校、中学校を一つに統合していくことのメリットは大きいと思うが、安全面や管理面の難しさがあるので、慎重に検討してほしい。 Bグループ ◆統合して「認定こども園」にしていくとよい。 Cグループ ◆統合して「認定こども園」にしていくとよい。

(3) 3テーマ目

対象施設	◆市民文化系施設 (公民館、図書館、博物館等、その他〈文化会館、学習館、三の倉市民の里など〉) ◆福祉施設 (高齢福祉施設、障害者福祉施設、児童福祉施設、その他〈かさほ福祉センター〉) ◆子育て支援施設 (児童館・児童センター) ◆産業系施設 (産業文化センター、勤労者センター) ◆スポーツ施設 体育館、屋外体育施設 (市営球場、星ヶ台競技場、旭ヶ丘弓道場)
------	--

項目	意見・提案
公民館	Aグループ ◆概ね素案のとおりでよい。 Bグループ ◆公民館は地域住民のつながりにも寄与しているため、極力維持してほしい。 ◆災害時の避難所として使いやすいように大きな部屋を確保してほしい。 Cグループ ◆根本交流センターのように児童館や地区事務所と統合して、多世代交流や多機能化を図ってほしい。 ◆校区によっては市立公民館がないところがあり、地域間格差をどのように解消するかが課題である。 ◆笠原中央公民館のアザレアホールについては、解体はやむを得ないと考ええる。
児童館 児童センター	Aグループ ◆多治見市は児童館が充実しており、他市の市民からうらやましがられている。今後も維持してほしい。
図書館	Aグループ ◆素案のとおりでよい。ただし、本館に集約するなら駐車場の確保をしっかり検討してほしい。
博物館等	Aグループ ◆文化財保護センターの方向性は、素案のとおりでよい。 Bグループ ◆美濃焼ミュージアム、文化財保護センター、土岐川観察館の3施設は、産業文化センターへ移転し複合化するとよい。
その他市民文化系 施設	Bグループ ◆三の倉市民の里は、素案のとおりでよい。

老人福祉 センター	Bグループ ◆素案のとおりでよい。 高齢者以外の世代も利用しやすいような運営手法を検討してほしい。
デイサービス センター	Aグループ ◆民間の力を積極的に活用してほしい。 Cグループ ◆民間の力を活用すべき。 ◆市は公共施設を使つての機能提供から早期に手を引くべき。
スポーツ施設	Aグループ ◆各施設の利用者団体等と協議をして、優先順位をつけて適正配置を進めてほしい。 ◆過去には市営プールを廃止している。スポーツ施設の廃止はできない訳ではないはず。 Bグループ ◆市営球場は大変古いが、廃止する訳にはいかないと思うので、素案のとおりでよい。 ◆弓道場はなくなってしまうと利用者が困るのではないか。何とか頑張って維持していければよい。 Cグループ ◆市営球場が見捨てられてしまうように思える。方向性を明確にして、一定の投資を行ってもよいのではないか



(討議会の様子)

9. グループ討議の過程で出された参加者個人の意見

(1) 1テーマ目《行政系施設、市営住宅、駐車場など》

項目	意見・提案
庁舎 ・ 地区事務所	Aグループ ◆本庁舎について、地区事務所的な役割は必要だが、建て替える際に大きなものは必要ないと思う。 ◆地区事務所の行政サービスをもっと充実させれば庁舎はもっと縮小できる。 ◆本庁舎を移転するならば、現在の本庁舎の位置に養正公民館や坂上児童館などを集約して活性化できるとよい。 ◆本庁舎移転に関しては、現在ある地域からの反対意見が予想される。本庁舎移転に限らず統廃合を進めるに当たっては地域エゴなどが出ることも予想されるが、今はそういう時代ではないと思う。 Bグループ ◆地区事務所は現在も全小学校区にあるわけではなく、本庁舎や駅北庁舎に歩いていける地域は地区事務所がなくても仕方ない。庁舎から離れたところは維持して、近いところは減らしていく方向にいくしかない。サービスが多少低下することは仕方ない。 ◆地区事務所は減らしていく方向でよい。 ◆駅北庁舎は立地がよいためバスで行きやすく、仕事帰りにも立ち寄りやすい。 ◆地区事務所については、例えば、人口がたくさんいる地域は残す、庁舎から距離がある地域は残すなど、小学校区ではなく大きなエリアで統合していくとよいと思う。 ◆年をとり車に乗れなくなると、公共施設に行きづらくなる。しかし、例えば池田校区はききょうバスが走っておらず、公共交通機関がない。こうした現状を踏まえながら集約していくことが大事。 ◆今後、自動運転やカーシェアリングの時代が来て大きく変わると思う。駐車場にしても地区事務所にしてもその視点を持つことが大事。 ◆集約しても集約先の施設にアクセスできる交通手段があればよい。地区事務所が各地域に分散している費用とバスを循環させる費用の比較だと思う。 ◆地区事務所同士を集約するより地域ごとに他施設と複合化していく方がよい。 ◆もし公民館を建て替えるのであれば、根本交流センターのように、児童館、公民館、地区事務所などを地域ごとに一つの施設に集約できればよい。そうすれば、世代間交流ができ、建物の数も少なくなり使い勝手の向上も期待できる。ただし、その分広い土地や駐車場が必要になってくることが課題。

庁舎 ・ 地区事務所	Cグループ ◆本庁舎と駅北庁舎を1箇所に集約化することに賛成。 ◆庁舎が2か所に分かれており目的によって行くべき庁舎が違うことは、市民にとって分かりにくい。利便性やコスト面を考えれば、集約するべき。 ◆しかし、災害対応を考えると2棟あることはサブ機能を備えることにもなるため、無駄ではないと思う。 ◆地区事務所は、全て廃止することを提案する。ただし、庁舎への公共交通による移動手段を確保する必要がある。また、地域ごとの公平性のため、廃止するならば全て廃止すること。 ◆駅北庁舎は、駅前立地による利便性の高さがメリットである。利便性の高い庁舎があるのだから、地区事務所は無くてもよいのではないか。 ◆地区事務所ごとに開所時間が違うことは分かりにくい。 ◆開所時間が半日の地区事務所は役目を終えているのではないか。 ◆一方、地区事務所ではほとんど用が足せるため、駅北庁舎を利用したことがない人も多い。 ◆インターネットの活用等と並行して、地区事務所の集約化と同時に公民館に複合化してはどうか。 ◆地区事務所を集約化した場合、公共交通による移動手段の確保は必要。
消防署 ・ 消防分団	Bグループ ◆素案のとおり、できるだけ維持してほしい。 ◆消防署は現状どおり維持すべき。消防分団車庫は消防団がある限りは維持していかなければいけない。 ◆各消防団は一生懸命訓練などに取り組んでいるので、消防分団車庫を継続して維持し、地域を守ってほしい。 Cグループ ◆笠原消防署の2・3階の利用について、モザイクタイルミュージアムを絡めて有効な使い方を検討してほしい。
市営住宅	Bグループ ◆できるだけ減らして跡地活用をするとよい。例えば、ある程度の年齢までは税金を下げるなどの支援策により、跡地に新しい住宅が造られて若者の移住・定住が推進されるとよい。 ◆市内には民間のアパートがたくさんあり、空き家もたくさんある。税金を使って市営住宅を供給する必要はない。素案のとおり順番に減らしてき、跡地を売って市の収入にした方がよい。市営住宅が建っている土地は、持っていては仕方ない場所が多い。それを売って民間が住宅分譲などをした方がよい。

市営住宅	◆減らしていく方向性でよいと思う。土地の単価が高い市営住宅は廃止して跡地を売却し、中心市街地から離れた市営住宅や土地の単価が安い市営住宅は維持してはどうか。 ◆緊急なものを除いて修繕はせずに廃止していく方向でよいと思う。
駐車場	Bグループ ◆地区事務所の討議の際に述べたように、自動運転やカーシェアリングの時代になれば、車は少なくなり駐車場の需要が減るのではないかな。 ◆ヤマカまなびパークは、現在駐車場が不足しているので、豊岡駐車場は必要。将来的に豊岡駐車場を解体した場合、更地にすれば駐車場だけでなく他の用途にも使える可能性がある。 ◆立体駐車場は維持費がかかるのではないかな。 ◆豊岡駐車場は、ヤマカまなびパークの駐車場として利用されているので、廃止するわけにはいかない。将来は簡素化して管理人なしの低層駐車場（2階建て程度）を建てたらどうか。 ◆豊岡駐車場の耐用年数が来たときに、駐車場の需要がどのように変化しているか。場合によっては増設や建替えも一つの考えではないかな。

(2) 2テーマ目《小・中学校、保育園、幼稚園など》

項目	意見・提案
小学校 ・ 中学校 ・ 保育園 ・ 幼稚園	Aグループ ◆一番大事なことは安全。一時期、色々な事件が起きて学校内に入れないようになったが、それ以前は地域住民との交流という目的のため開かれた学校であった。 ◆学校統合するならバス通学などにより通学時の安全を確保する必要がある。安全確保ができるなら、学校統合もあり得ると思う。 ◆小学校でも中学校でも子どもの数が少ないことは、子どもたちにとってマイナス。中学校では少人数のために部活動が作れずに他の学校と合同でやっていることなどを考えると、教育を受ける権利が奪われているとも言える。 通学の安全性や利便性などの面と、適正な規模の学校で教育を受けるといふ面の両立は難しいと思うが、中学校の統合は生徒数を増やすという意味で大賛成。ただし、小学校の統合は難しい。 ◆現在は核家族が多く、小学校にあがると一人で留守番をしている場合も多いのではないかな。 定員の関係で学童クラブに入れないという話も聞くので、空き教室を活用して子ども達が安全に過ごせる場所を作れるとよいと思う。 減築の必要性も理解できるが、校舎を子ども達の安全確保のために有効活用できるとよいと思う。 子どもの貧困などの話も聞くので、小学校がそういう子どもを守る場所

	になればよいと思う。子ども食堂などは公民館などで行われたりするが、もっと身近な学校とかで出来ればよいと思う。 ◆学童クラブの先生は委託の法人、NPO、社協などの人たちで、学校の先生はノータッチだと思うが、学校の先生の中で担任のない先生などが学童担当となることはできないか。 ◆保育園・幼稚園を小学校に移転し複合化することは、施設の有効活用的一面ではよいが、グラウンドを共用するのはどうかと思う。体の大きさや遊び方も違うので、グラウンドは別のところに確保した方がよい。 ◆保育園・幼稚園を小学校に複合化した場合の懸念は、安全面。小学生と園児では体格差、体力差がある。 また、全体の管理をする立場の人が大変ではないか。全部一つにまとめることで人員配置や施設管理の面の効率化は図れるが、安全面で難しい課題が残る。 ◆他の施設であれば遊休スペースを貸すこともできると思うが、学校では安全管理上の課題がありできない。 ◆異なる機能を一つの施設にまとめるのであれば、管理の仕方をしっかりしないとうまくいかないのではないか。 ◆小1ギャップなどもあるので、小学校と保育園・幼稚園を複合化して同じ施設に通うようになれば、子どもの精神的負担が少なくなるのではないか。また、幼保小中がつながることで、先生同士が情報を共有して子どもたちに向き合えるのではないか。 Bグループ ◆小学校は地域の核であるため、素案のとおりでよい。 ◆子どもが減っている地域は空き教室が多いただろうから、幼稚園や保育園を小学校に移転して建物を減らした方がよい。 ◆ほぼ素案とおりでよい。平和中と南ヶ丘中は位置的には通学できる範囲なので統合してもよいのではないか。 ◆池田小の卒業生は、小泉中と平和中に分かれる。平和中と南ヶ丘中の間は距離や高低差があるし、池田校区の子が南ヶ丘中に通学するのは遠い。統合することはよいが、実際行うとなると課題も多く難しい。通学距離が長くなるし、自転車で中学生を通わせるのも危ない。バス通学という話も出てくるかもしれない。 ◆通学中の危険は、市民の見守り活動などである程度フォローされるのではないか。 ◆小学校には2つの機能がある。一つは教育の場、もう一つは地域の核としていざという時の避難所。 地域の核は、学校でなくてもよいのではないか。小・中学校は教育の場なので、公民館などがあるならそちらを耐震強化して地域の核としての機能を持たせればよいのではないか。
--	--

	◆小・中学校を統合し小中一貫校化するのはよい考えだと思うが、そうすると中学校の生徒数が今より少なくなり、子ども達の切磋琢磨などの面で厳しさがある。中学生であれば自転車通学も可能だろうから、中学校を優先して統合していき、小学校は幼稚園や保育園と複合化するようなやり方かどうか。 Cグループ ◆教育に直接関わることなので、保育園、幼稚園から小・中学校まで一貫化できればベスト。一貫化できれば施設はスリム化されるが、校区設定が課題。また、一貫化により人間関係が固定化されることにうまくなじめない子がいた場合などは別の課題が発生する。 一方、一貫化になれば教える先生もじっくり長く見られるし、保護者などの立場としても安心できる。 ◆小さい頃から一緒にいればイジメなどもなくなると思う。 ◆保育園と幼稚園を統合して認定こども園にした場合、現場の先生は大変そうだが、場所や施設の話であれば、一緒になった方がよい。先生も保育と幼児教育の両方の資格を持っている人を雇用するのがよい。 ◆中学校は校区が広いと小学校が中学校を吸収するような形で小中一貫校として整備するのがよいのではないか。こうすれば、小学校区の単位を大事にできる。 ◆現在、小学校は13校、中学校は8校ある。小学校に中学校を吸収していくと中学校が分散することになるが、むしろ分散した方がよいと思う。中学校の延床面積は合計で6万㎡くらいあるので、かなりの面積を削減できる。 ◆小学校の方が施設的には広いので、受け入れる余裕があるのではないかな。 ◆昭和小学校は4階建てだが、ワンフロアがほぼ空いている。しかし、そこに地域の公民館機能に移転するというのは現実的ではない。不特定多数の人が集まるというのは教育機関としてよくない。教育施設同士でなるべく集約したほうが現実的かと思う。 ◆現在、同じ地域で中学校が分かれてしまったり、同じ小学校区に中学校が2つあったりいびつな感じがする。 ◆ずっと同じ環境にいるよりシャッフルされた方が相乗効果や人間関係の広がりなどのよい面が期待できる。一方、公共施設の適正配置の観点で言えば、空き教室を活用して幼稚園から中学校まで一か所に集約すれば施設総量のスリム化ができるし、防犯も高まりよいのではないかな。 ◆適正配置の観点では一貫化によりスリム化することができてよいと思うが、これは大人の意見であり、当事者の子どもの目線ではどうだろうか。
--	--

小学校 ・ 中学校 ・ 保育園 ・ 幼稚園	◆今の中学校の機能をそのまま小学校に分散できるか。精華小などは空き教室がなく難しい。 ◆地域ごとのバラつきはどうしても生じる。地区事務所の話とは違い、小学校区ごとに特色があるのでそれぞれで考えていく必要がある。 ◆人数が少ない地域だと小学校区単位に中学校を分散させてしまうことで生徒数が少なくなり、部活動などに影響が出てしまう。現時点でも少人数の影響により部活動をやれない子や大会に出られない子がいる。 ◆部活などは学校の垣根を越えてクラブ化していくのではないかな。 ◆せっかく笠原で小中一貫教育のよい影響が出ているのだから、少しずつ小中一貫校を増やしていき、やっぱり戻した方がよいということであれば柔軟に対応していくことはできないかな。 ◆小中学校が隣接している北栄小・北陵中、小泉小・中などからやってみたらどうか。 ◆小中一貫になり9学年と一緒に活動するとなると、例えば、体育館の使用なども重なってくる。子ども達の活動に無理が生じるのではないかな。小学校に中学校機能を集約した場合、今の建物をそのまま使おうとすると、そうした課題も出てくる。 ◆統合は、子どもの人数が減少し空き教室が増え、そこに入れる余裕があることが前提である。 小中合わせて全体の人数が大きく変わらなければ体育館は一つでもいいはず。自分たちの小学校時代は児童数が1,000人の規模だったが、一つの体育館で活動してきた。中学校が一緒になっても使い方の工夫次第だと思う。 ◆小学校区で小中一貫校にした方が、校区の意識は高まる。
調理場等	Bグループ ◆子どものためを思うと、できれば小学校に調理場が隣接し温かいものが食べられ、調理の様子が見られるのがよい。しかし、小学校によっては土地が狭いので調理場が造れないと聞く。仕方ないと思うが、もし小学校を建て替える場合には、給食調理室も一緒に造ってほしい。 ◆理想は各校に調理場を配置することだが、素案のとおり調理場の統合する方向性はやむを得ない。 ◆理想は各校に調理場を配置することだが、難しいならアウトソーシング化などの方策もあると思う。
保育園 ・ 幼稚園	Bグループ ◆保育園と幼稚園は統合して認定こども園にしていく方がよい。 ◆旧滝呂保育園と旧美坂保育園は統合して星ヶ台保育園になった。滝呂台から駅に向かう途中に立地しており、利便性が向上した。統合していくことは良いことと思うが、統合しても利便性が下がらないよう立地をしっかりと検討することが大事ではないかな。

保育園 ・ 幼稚園	◆建て替える時に適地に認定こども園として統合できるとよい。 また、小学校の空き教室など利用して移転することで施設を少なくしていくとよい。 ◆他市では保育園と幼稚園の枠を取り払って母親の就業に合わせて預かってくれる例もある。多治見市は保育園と幼稚園にはっきり分かれており、保育園は母親の就労が必要といった昔の概念のままずっとやっているが、分けたりせず上手く運用すれば、母親たちが仕事と子育てを両立しやすくなるのではないかと。 幼稚園は急用や事情があってもなかなか預かってはもらえない。時間に余裕があるお年寄りがお手伝いをするとか、保育免許がなくても何かのお手伝いができるシステムを作ったりしながら、地域で子ども達を育てられると母親も助かるのではないかと。 ◆池田保育園は県病院で働く保護者による利用もあり、池田校区の子どもは意外と北野保育園へ行っていると聞く。北野保育園と小泉保育園を統合するとなれば、建設場所をどこにするかが課題になる。 Cグループ ◆働いている職員が保育と幼児教育の両方の資格を持っており、受け入れる体制があるならば、できるだけ保育園と幼稚園を統合して認定こども園にする方向がよい。 ◆管理運営方法は、指定管理を増やす方向がよい。
--------------------------	--

(3) 3テーマ目《公民館、図書館、児童館、福祉施設、スポーツ施設など》

項目	意見・提案
公民館 ・ 児童館 児童センター	Aグループ ◆市町合併によって一つの市に2つのホール(バロー文化ホールとアザレアホール)が存在することになった。アザレアホールの解体については、笠原町の住民が納得するかの課題はあるが、総論としては無くした方がよい。 ◆公民館やスポーツ施設などは、そこで活動している人にとっては重要であるが、施設を利用しない人には関係がない。限られた人たちが使っていることを考えると、公民館は基本的に他の施設と複合化する方向でよいと思う。 ◆公民館は無くても済んでいる地域がある一方、似たような施設が2つもある地域があるというのは、行政の過去のやり方がおかしい。 これまで造っていくときに地域間で不公平が生まれた。廃止するときには過去のやり方の轍を踏まないように公平に廃止してほしい。 ◆娘といっしょに公民館などの事業によく行くが、事業によって行く先が公民館だったり、児童館だったりするので、公民館と児童館が一緒になることはむしろ行きやすくてよい。

公民館 ・ 児童館 児童センター	◆根本校区は広い土地を確保することができて根本交流センターを造ることができたが、精華校区などの中心市街地では駐車場なども少なく、大きな複合施設ができないことは分かる。 ◆ふれあいセンター姫※をよく利用するが小さい子どもと高齢者が会うことが出来てよいと思う。複合して施設が減るならそれでよい。 ※ふれあいセンター姫…老人福祉センター、デイサービスセンター、児童センターが複合した施設 ◆多治見市は児童館が多くあり、他市に住む友人からうらやましがられている。よいところは無くさないでほしい。 Bグループ ◆公民館の目的は何か、を考えることが必要。生涯学習の目的ならば公民館ではなく、ヤマカまなびパークなどの大規模施設で集約的にやった方が色々な講座ができるし、一元的にした方が効率的ではないか。 避難所としての機能を持っているのであればその機能は残さないといけないし、そこの取捨選択であると思う。 公民館に大きなホールがあれば、避難所としての機能は成立するし、その機能を残すのであれば逆に小さい部屋などはたくさんなくてもよいのではないか。 ◆単純に面積を減らすのではなく、機能を考えて振り分けた方がよい。 ◆昭和校区には市立公民館はないが、大畑公民館がある。建設の際は必要だろうかと思ったが、実際に使ってみると地域住民が交流する場所になっていると感じた。地域のつながりの面では、こうした施設は大事だと思う。統廃合を進めるとしても、ある程度残しながら進めてほしい。 ◆公民館が無い地域は小学校の空いた土地や教室を利用するなどに対応できないか。 ◆地域の方々が必要だという意味を持ってお金を出して造るのであれば、自分たちに必要なものだけを造れるのでよいと思う。 ◆市立公民館がない地域は、市の補助などを活用して集会所を建設したり、修繕して使っている。 ◆養正校区は1区～6区までであるが、頻繁に公民館を利用しているのは陶元町周辺の人だけで、それ以外の人たちは各々で集会所を造って集会を開いている。 ◆昭和校区は公民館がないから活動ができないと言う人がいるが、昭和小学校体育館の多目的室を利用して活動することもできる。 ◆各小学校区に公民館が必要かと問われれば、そうでもないと思う。 ◆必要と思う施設を地域が使っていけるように、市ではなく地域に払い下げるようなイメージで管理していけないか。 ◆以前は思わなかったが年をとって公民館が重要だと思うようになった。地域のつながりという意味では公民館は大切。
-------------------------------------	---

公民館 ・ 児童館 児童センター	Cグループ ◆公民館は地域によって差はあるものの総じて稼働率が高いと感じた。 ◆公民館は比較的新しい建物が多いので建て替えは現実的ではない。 ◆これだけ利用率が高いのであれば、地区事務所を公民館に移転し統合するのが理想的。 ◆公民館に行けば事が足りるように、児童館も併設して地域の人がそこに集まってくるようになるとよい。 ◆施設名に「老人…」「児童…」という言葉がつくと入りづらくなるので、公民館に老人福祉や児童館の機能が集約されているといろんな世代が行きやすい。 ◆仕事をしていると忙しいので公民館を使おうと考えたこともなく、公民館はなくてもよいと思っていたが、ちょっとしたきっかけで一つ行事に参加してみたところ考えが変わった。公民館は、生涯学習をするのによい場所だと思う。児童館と統合し、赤ちゃんからお年寄りまで同じ施設で過ごせるとよいと思う。世代の垣根を取って一つの施設に集約化していけるとよい。 ◆公民館まつりと児童館まつりが別々に開催されているが、子どもがいないと児童館まつりは行きにくい。公民館まつりとして統一すると年代問わず参加できるし、地域の拠点になると思う。坂上児童館は古いので、養正公民館へ移転し更に館全体を充実させれば、学校にも近く利用しやすくなる。 ◆滝呂校区には立派な小学校があるが、市立公民館がないので是非造ってほしい。 ◆小学校区によって、公民館の有無に違いがあるのはどうなのか。 ◆地域の集会所だと鍵を借りてからでないと入れないが、公民館などの公共の施設であれば常駐の管理者がいて、いつでも気楽に行くことができる。個人が戸締りなどを気にしなくてもよい。利便性がある、なおかつそこに行けば誰かがいる施設があれば、誘い合って行くことができる。 ◆根本交流センターのように一か所に機能が集約されていれば、そこに行けばなんとかなるという安心感もあり、どの世代も利用できる。地域交流も進むのではないか。 ◆指定管理者にインセンティブ（例えば、1事業につき〇〇円など）をつけたらもっと稼働率が上がるのではないか。 ◆各事業において根本交流センターのようなモデルケース（例えば、小中一貫教育なら笠原小・中）がある。こういうモデルケースを基準にして他へ展開していくことが大事。 ◆市町合併したことによって、笠原地域は他の地域より公共施設が充実している。アザレアホールの解体はやむを得ない。
-------------------------------------	---

図書館	Aグループ ◆図書館は本館に集約する方向性でよいが、車を使っの来館者が増えると思うので豊岡駐車場は必要かと思う。公共交通の充実などの対策も重要。 ◆本館で借りた本を笠原分館や子ども情報センターでも返せるという便利さがよかった。
博物館等	Aグループ ◆文化財保護センターの方向性は素案のとおりでよいが、発掘すればそれだけ倉庫での保管量が増えていく。実物ではなく画像や文書などのデータで残すことはできないか。 ◆文化財保護センターでも催し物をやっているが、ほとんど知られてない。 Bグループ ◆土岐川観察館や文化財保護センターは、何をやっているところか分からない。廃止してもよいのではないか。土岐川観察館を維持していくのであれば、産業文化センターに複合化すると土岐川に近くてよいと思う。 ◆文化財保護センターは、機能としては必要だが場所はそこになくてもよいものなので、産業文化センターに移転するとよい。
三の倉 市民の里 (地球村)	Aグループ ◆三の倉市民の里（地球村）は、廿原のいちご狩りやカフェ、星空などと絡めることで民間の力を使って活用できるとよい。 ◆レジャー系施設は、公共で運営しているところは少ない。どんどんやめるべき。 ◆多治見市の暑さを利用して酷暑トレーニングを売りにしたらどうか。 Bグループ ◆今は宿泊などの利用が少なくなったようなので、民間に移行して何かしてもらえるとよい。三の倉がゴミを捨てに行くだけの場所にならないよう、さびれないようにしてほしい。
福祉施設	Bグループ ◆デイサービスセンターは、時代とともに公共から民間へシフトしていくのは仕方ない。 ◆旧滝呂児童館は小学生がたくさん使っていたが、サンホーム滝呂※に変わってから少なくなった。多世代交流に重きを置いていると思うが、子ども達の視点からすると世代があまりに離れた人たちのところには行きたがらないのではないか。利用者の世代が異なる機能を集約する場合は、よく検討した方がよい。 ※サンホーム滝呂…老人福祉センター、デイサービスセンター、児童センターが複合した施設

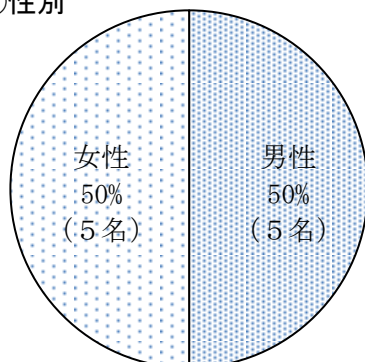
福祉施設	Cグループ ◆民間のデイサービス事業者は自分たちで建物を建てて運営しているが、社会福祉協議会だけ市の施設を借りて運営していることに格差を感じる。民間でこれだけデイサービスが林立しているなか、市の施設を使って事業を行う必要はない。デイサービスのために建物を維持していかななくてはならないことに疑問を感じる。デイサービスを廃止して、そこに児童館や公民館などの機能を複合化して施設を活用してほしい。 ◆総合福祉センターは敷居が高く入りづらい。もっと気楽に行けるところが近くにあるとよい。
スポーツ施設	Bグループ ◆市営球場は古いが多治見にこうした施設が他にないので、なくしてしまう訳にはいかない。 ◆市営球場は利用者も少なく、あの場所で維持するのはもったいない。球場は廃止して他の用途に変えられないか。 ◆市営球場は高校生などの大会で利用されている。東濃という広域で考えると、どこかに一つは規模の大きな球場がないと困る。旭ヶ丘弓道場も市内の公共施設としては一つしかない。弓道はマイナースポーツなので仕方ないかもしれないが、施設を建て替える際は、例えば土岐市と協議し土岐市に建ててもらうなど、他市と連携していく必要があると思う。 ◆多治見市は土地が狭いから使うか分からないような施設は廃止した方がよい。 ◆社会人サークルが使うような施設であれば市が管理しなくてもよいが、学生の部活動や大会で使うような施設は安易に廃止してほしくない。 Cグループ ◆多治見市も施設を減らす話ばかりでなく中津川市のスケートボードパークなどのように特徴のある施設を造ることはできないか。そうすれば大会やイベントなどによる集客が期待できる。 市営球場は古く使い勝手も悪いので、あのまま朽ち果てるのを待つのではなく早めに手を打って、新しい施設を造れないか。市営球場と星ヶ台競技場は近いのでサブ的な施設にするなども考えられるのではないか。 ◆市営球場は交通の便が悪い。車で来ても分かりづらく、専用駐車場も少ない。

10. 参加者アンケートの結果

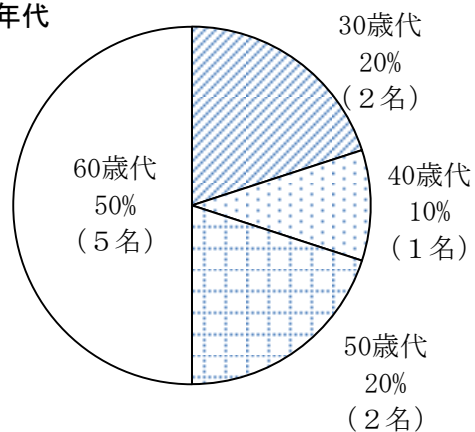
<回答数> 10 (※討議会の総参加者数は13人)

<回答者の属性>

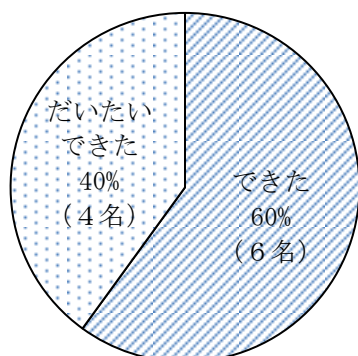
①性別



②年代



【問1】グループ討議で自分の意見を十分に出すことはできましたか。

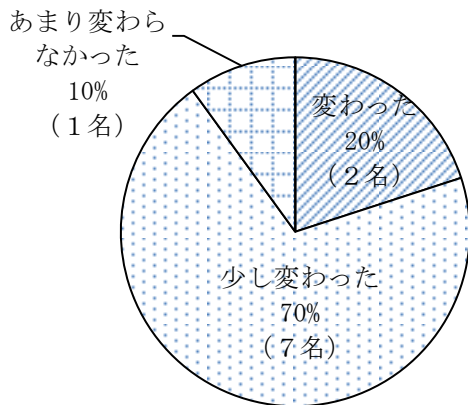


【問1-②】グループ討議で言い切れなかった自身の意見があればご記入ください。

No.	施設名称	意見
1	市役所（本庁舎）	・（建替え後の現庁舎を）別用途で活用することで市が元気になるとよいと思う。 ・本庁舎を建て替える際は、駅北庁舎を増築して一つにするとよい。
2	市役所（駅北庁舎）	・利便性のよいところに立地しているため、さらに活用できるとよいと思った。

3	児童館 児童センター	・児童館・児童センターの数が多く、他市の友人に「子育てしやすいね」と言われるので、よいところは残しつつ集約して行ってほしい。集約しても畳の部屋や体育館のような場所は広く取ってほしい。
4	市営住宅	・住宅に配慮が必要な方（障害者や高齢者）のために一定量は確保しなければならないと思う。
5	デイサービスセンター	・民間に全部丸投げしないでほしい。

【問2】 討議会に参加して、公共施設に対する考え方は変わりましたか。



＜「変わった」と答えた人の理由＞

- ・市民の為の施設がこんなに多くあり、便利に使えるよう考えられていることを知ることができた。もっとたくさん利用していきたい。

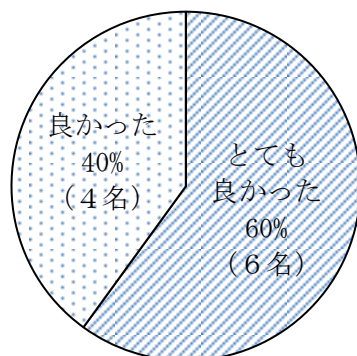
＜「少し変わった」と答えた人の理由＞

- ・現実を踏まえると暗い話になってしまうが、少しでも希望を持てるようにとの事務局（市）の言葉が心強かった。自分も微力ではあるが、公共施設の持つ良さの情報発信源になれたらと思えた。
- ・統廃合の話も進んでいることが理解でき、今ある施設をもっと有効に活用できるのではないかという思いにもなった。
- ・自身は高齢であるが、若者に優しいまちにしていきたい。
- ・各地域の公共施設（公民館等）は利用頻度が低いイメージがあったが、地域によっては地域が主体となって活用しているなど知ることができた。
- ・自身は公共施設をほとんど利用する機会がなく、それほど必要性はないと感じていたが、必要なものは必要であると認識する事ができた。

＜あまり変わらなかったと答えた人の理由＞

- ・計画（素案）の説明を聞き、事務局（市）の考えと自分の考えが概ね合っていた。

【問3】 討議会に参加して良かったですか。



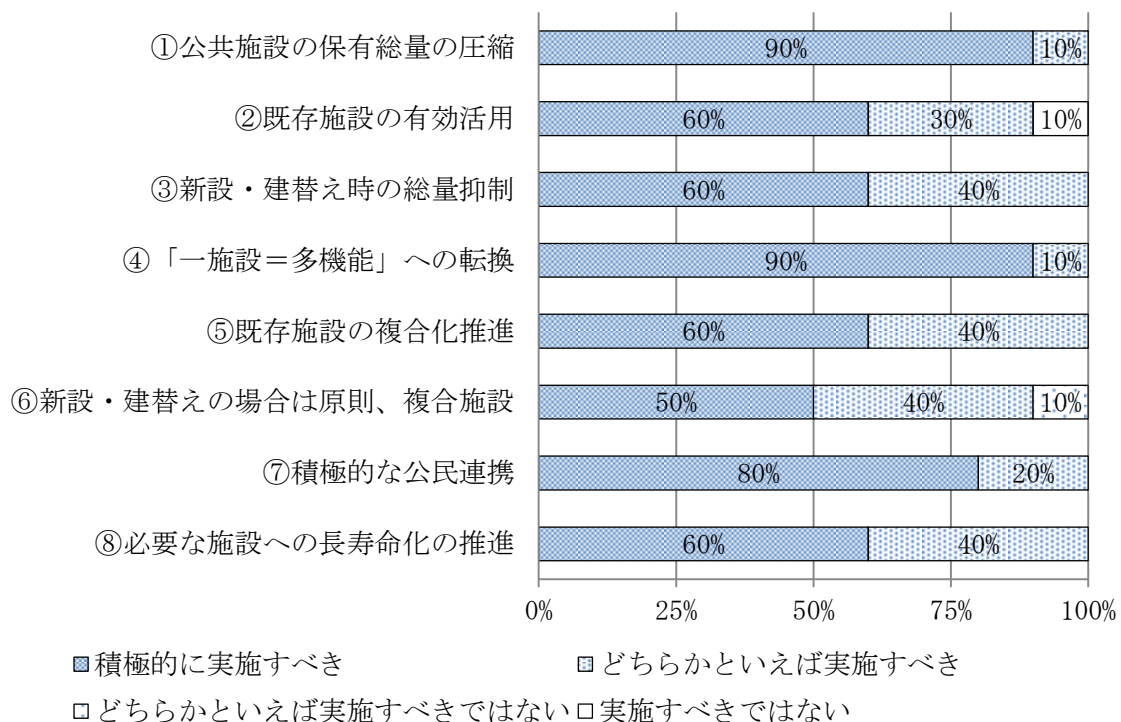
＜「とても良かった」と答えた人の理由＞

- ・色々な世代の方、立場の方の意見が聞くことができた。その中で、子育て世代の意見を言うことができた。
- ・他の方の意見を聞き、市の職員と身近に話をすることができた。なかなかない機会のため、今後も機会があれば参加したいと思った。
- ・いろんな考えがあることが分かり、自身の考え方も少し変えてみたいと思った。

＜「良かった」と答えた人の理由＞

- ・色々な方の考えを知ることができて良かった。
- ・無関心だったが、勉強になった。

【問4】 公共施設適正配置基本方針に掲げた主な考え方について、それぞれあなたの考えに最も近い番号を選び、○印をつけてください。



【問5】 今後計画を策定し公共施設適正配置を進めるに当たって、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

＜計画全般について＞

- ・新しく建物を作るのは極力控え、財政に余裕を持った市政運営をしてほしい。冷房、暖房、照明の節約も心がけてほしい。

＜情報提供、意見聴取について＞

- ・今後の計画の行く末が気になるため、ホームページなどで情報を知りたい。
- ・現場で働いている方々、現役で直接働いている方々の意見が必要と感じる。
- ・公共施設をよく利用する世代として高齢者と児童学生が考えられる。高齢者の意見はこうした会などで拾えるが、児童学生の視点から、どの施設がどのように在るべきかについても意見を拾ってほしい。

＜その他＞

- ・滝呂地区には公民館がなく、気楽に立ち寄れる様な公共施設がほしい。
- ・統廃合、縮小していく方向は必須だが、何か目玉になる施設（全国から人が集まり注目され、それが恒久的に続くようなもの。できれば若者が目指す聖地的なようなもの。）がほしい。

以上